

2007(平成19)

第30回

第Ⅱ部

日本商工会議所会頭賞

## 魅力ある人と企業

関西尾池工業 小嶋麻紗子

私は以前面接で「あなたにとって仕事とは何ですか。」と聞かれて戸惑ったことがあります。自分自身の考えをまとめていなかったこともありましたが、就職活動の最中、興味のある会社だけにエントリーし、セミナーや試験、面接など目の前の予定で精一杯でした。社会に出ること、仕事に携わること、自分自身のキャリアアップなど、じっくりと具体的に仕事について考える余裕がありませんでした。

日本の伝統的工芸品である和傘、凧、花火、漆器などものを作り続ける人、大工、左官、庭師などの職人たちは、技術一つ一つが素晴らしく人を魅了しています。人間国宝に認定されたり、叙勲されるなど、その人にしかできない仕事です。自らの意思を曲げず技術や作品に妥協しない強い信念で、誇りや自信を持つてものづくりをされており、私はそのような精神や強い意志を持つて仕事をしていることに憧れを抱いています。職人だけではなく、仕事に情熱を持ち、日々の目標を達成している人も仕事に対する誇りが強く魅力ある人と言えます。

しかし最近、市民の代表や警察官僚が関わった談合や汚職事件、食に対する安全衛生を軽視した食品会社など、私利私欲で一人よがりな理由で引き起こした事件が、毎日のように取り上げられています。

私は今日の日本社会に、仕事に対する情熱や誇りを持った魅力ある人が不足していると思います。新聞やニュースを見るたびに自らの仕事に対しての誇りが感じられず、社会人として、また上に立つ人間として働いている方たちがこのような有様では、個々の誇りが薄らいでいき、魅力ある企業は減っていきます。仕事

に誇りや夢を持って働きたいと思うことができません。

仕事の中で技術を身に付ける意志や、仕事を通して得られる自分自身の価値を真剣に考えるべきです。そして、職人は何十年と働いていても一生修行という心構えであると言われています。社会人もこの言葉を深く受け止め、働く楽しさや、生きがいになるような仕事ができるよう働く一人ひとりが意識を変えるべきと思います。

中小企業は大企業に比べ、人員が少なく優れた設備も整っていませんが、個々の技術向上を目指す強い意識があると思います。また、自分自身を中心となって仕事をすることができると、キャリアアップや、自己実現の場がたくさんあり、自分自身の未知の可能性を存分に探することができます。

現在、工場に就職し四ヶ月ほど経ちましたが、働く諸先輩方を見ていると、研究開発とは違う時間の流れの中、生き生きとした方が多いと感じます。誇りを持ち楽しんでに仕事をしている人は、社会人として魅力的であり、中小企業の中でも目立つ存在で自然と人に頼られ評価されます。誇りを持って取り組む姿勢は自社のみならず他社からも評価され、良い結果や信頼を得ることができません。

しかし、強い意志を持って仕事をしていても、現実とのギャップや、困難で自分の思い通りにならないことがあり、覚悟も必要です。立ち止まり、違った角度から物事を見ることで自分に足りないものや新しい発想など自己形成に大きく関係すると思います。

仕事を自己満足で終わってしまうことはもったいないことです。「これだけは」と胸を張れる仕事を積み重ねることで、自分自身に価値が付き評価されると思います。ただ単調に仕事をこなすだけの会社では、魅力的な企業にはなれません。会社がどのようしたら魅力ある人を育成でき、楽しく働くことができる環境になるのか、たくさんの人とコミュニケーションすることにより一層、深く考えることができこれは大切だと思います。そして中小企業の中で光る存在になるのだと思います。

職人が技術を探求し続け、強い意志や精神を持っていることと同様に、社会で働く個々が仕事に誇りを持ち、価値のある魅力的な社会人であり続けることで、会社全体に広がり、意識の改革を行っていくことができます。今後も発展していく魅力ある企業の姿だと考えます。